シルバーだより 64号
うしく

平成29年4月1日　発行
牛久市シルバー人材センター広報委員会

牛久市女化町 859-3
電話 029-871-1468
e-mail usiku@sic.ne.jp

会員数　483名　（男 396名　女 87名）2月末現在

29年度事業運営の基本方針

理事長　　根岸　幹和

激変が予想される国際情勢の中にあって、悲観的考え方では何も成就しません。牛久シルバー人材センターには、自らの手で、自らの未来を切り拓いていく気概が求められています。
会員一人一人が自らの健康を維持し、自主独立の精神を保ち、生き生きと活躍する機会を得ること　が肝要です。

平成29年度の事業を遂行するに当たり、念頭に置かなければならないところは、超高齢化社会の到来ということです。牛久市も例外ではありません。牛久市内在住の高齢者の方が一人でも多く、シルバー人材センターに加入して、適正な就業をはたし、生きがいのある生活が実感できる仕組みを作り上げ、牛久市経済活性化の一助を担っていく、という積極的な取り組みに挑戦していく必要があります。
そのためには、運営の母体となる就業会員をいかに増やしいくかということです。

私達の強みは何か？知恵と工夫を重ねるとともに、会員一人一人が自分の持ち分を自覚し、それぞれの力を結集して私達の牛久シルバー人材センターを築き上げていくことです。

このような一つ一つの積み重ねが実績を高め、さらに信頼を獲得していくことになります。運営の基本はスピードをもって確実に仕事を遂行していくことです。

団塊の世代が70歳を迎えようとする今、まだ十分活力を有した人たちに活躍してもらう就業の場、生きがいづくりの場を提供すること、牛久シルバー人材センターここにあり、というシルバーの現社会生活における有用性を十分に知ってもらうことです。

専門的能力やキャリアを生かす仕事を開拓し、就業先の開拓推進を図るべく必要な手は打っていきます。一方、就業機会の創出を支えるため、理事・事務局職員・会員がそれぞれ工夫を凝らして作業を効率的に遂行し、シルバー内部組織のガバナンスを高め、コンプライアンスを充実させていくことが必要です。

シルバー各構成員のスキルアップを図るために、センター独自の学習会、公共機関の研修会への参加や先進センターの調査・視察が必要となります。新入会員へのオリエンテーションを含め着実に会員のレベルアップを推進していく必要があります。

安定した仕事の遂行には、安全就業推進の活動が重要です。安全・適正就業の各作業の指導マニュアルの作成・充実や交通安全講習会、安全パトロール実施を強化するなど安全対策をしっかり進めていかなければなりません。

牛久シルバー人材センターは急増する高齢者の受け皿として多様な就業機会の創出及び生きがい作りの場を提供していきます。

以上

牛久市シルバー人材センター職場紹介

シリーズ　わが職場　No.6

「広報誌　うしく」　配送業務　河崎

「広報誌　うしく」をお届けするのが、私達の仕事です。
市内を３つのブロックに分け、２人１組の３チームで対応しています。
毎月末の午後、市役所の倉庫に集合。3台のワンボックスカーに各地区ごと全戸配布の広報誌、商工会だより、その時期の催事ポスター、チラシ、更に区長宛文書、回覧関係書類、各地区の小、中学校だよりを積載します。
積載時に翌日の道順やおろし先、車両の左右バランスも考慮します。

翌日の道順やおろし先も考え積載

　翌日の朝礼では運転者の免許証の確認、アルコールチェック、該当走路の工事等の確認を行い、駐車場へ。車両ブレーキランプ、方向指示ランプ点灯確認ほか、全ておこなってから安全運転を宣誓、出発します。
　各チームは地区の会館、区長様宅、コンビニ、銀行、郵便局をコースごとの到着標準時刻に沿って移動、指定部数を配布していきます。

各チームともイキはピッタリ

夕方３時半頃には市役所に戻り、回収した前月号の広報誌返却、運転日報の記載内容の確認をして、一日の仕事が終了します。
　配布先の会館や区長様宅で労いのお言葉をいただくと、この仕事のやりがい、責任を感じ、来月もしっかりやろうという気持ちになります。
各チームとも一緒に組んでいる方とは３年以上、イキもピッタリですね。

理事会審議事項報告

平成 28 年度第 3･4 回の理事会が 10 月及び 12 月に開催され、下記の議題について報告がなされました。

1、第 3 回理事会（平成 28 年 10 月 26 日）

① シルバー人材センター活性化議員連盟総会報告　② 適正就業ガイドライン（厚生労働省通達）

③ 各専門委員会活動報告

2、第 4 回理事会（平成 28 年 12 月 21 日）

① 県シ連理事会報告　② 嘱託職員就業規程一部改訂について　③ 各委員会活動報告

④ 事務局報告

専門委員会活動報告

総務委員会

1、公益社団法人の組織の定着化：① 既存規程の 2 規程の見直し整備を図りました。

② 除草機械刈り就業マニュアルを作成しました。

2、地益社会の貢献活動：市役所から牛久駅周辺及び、ひたち野うしく駅周辺の街路清掃ボランティア活動を行いました。

3、会員研修の質的向上への推進：会員研修テキスト等の見直し整備を図り、テキストの更新を行いました。

4、会員の健康維持と健康寿命の伸長：10 月 18 日(火)シルバー研修親睦バスツアーを実施しました。

事業委員会

1、会員の増強：① 会員募集チラシを市役所・エスカード・各生涯学習センターへの配備を適時実施し PR に努めました。② 会員募集チラシを牛久駅東・西口、ひたち野うしく駅東・西口にて 1,000 部を 10 月 20 日に配布しました。③ 広報うしくへ会員募集記事を 12 月 1 日付けに掲載しました。

2、事業の創出：「家庭でのお手伝い事業」「リサイクルショップ展示販売」拡大 PR のため広報うしくに 12 月 1 日付けに掲載しました。

3、独自事業：① 「パソコン教室」募集を広報うしくに 12 月 1 日付けに掲載しました。② カッパ箸製作を実施しましたその結果延べ 17 名の協力者をえました。来年度には最終的に 25 名の協力者を目標に募集したいと思います。

安全委員会

1、2 月 21 日（火）牛久市総合福祉センター会議室において、牛久市交通防災課、交通安全強化員（3 名）を招き、自転車交通安全講習会を実施しました。

2、安全作業・安全就業の取り組みのチラシを作成し、関係就業会員に配布しました。

3、就業現場安全パトロールの実施：　3 月 13 日（月）理事長・副理事長・常務理事・総務安全委員会の各理事が剪定作業現場他を安全パトロールして事故防止・安全作業をお願いしました。

広報委員会

1、シルバーだより新春号（平成 29 年 1 月 1 日号）を発行し、全会員に配布するとともに牛久市内の全世帯に回覧しました。今回はむしろ市民の方々向けの発行であったため、シルバー人材センターの事業紹介や会員募集等の PR に重点を置いた紙面構成としました。

安　全　委　員　会　だ　よ　り

29 年度　安全就業をめざして

28 年度安全就業の取り組みご協力ありがとうございました。28 年度事故情報（29 年 1 月末現在）傷害事故 1 件、賠償責任事故は 0 件でした。

茨城県内のシルバー人材センターでは、残念ながら重篤事故（死亡）が 1 件発生しました。原因は、就業場所の工場内の食堂から駐車場に向かう途中、作業中のフォークリフトと衝突する事故でした。会員皆さまにおかれましては、常に安全確認を行い事故防止に努めてください。

安全委員会では 29 年度も傷害事故・賠償責任事故 0 をめざし下記の取り組みを行います。

1．安全パトロールを実施します。
2．安全標語を募集し、シルバーだよりに掲載します。
3．県シルバー人材センター連合会主催の安全・適正就業推進大会に出席する。
4．7 月「安全・適正就業強化月間」を実施します。
5．自動車・自転車の交通安全講習会を実施します。

安全については

安全に関しては、何を言ってもいい。
安全は言わない方が問題で、言われた方は怒ってはいけない。

「安全を指摘され（え・・・!!）と言って、もう一回確認して、（大丈夫だった!!）
その確認する行為が大事です。

指摘が全部正しい指摘か・・！ と言う前提をおくと、指摘しづらい。
「お前が言ったことは間違っていたよ・・ !!」と言われると、指摘しづらい、
（二度と指摘しづらい）その時、その場で問題を解決することが大事です。

!! よく言ってくれた・・!! と言う グループ 又 は職場づくりが必 要 です。

全日本空輸株式会社
社長　篠辺　修

28 年度　安全標語　優秀作品

○	安全就業は　今日も家族に　幸せ運ぶ	会員番号　735	大川　勝男
○	暑いです　のどが渇いた　すぐ給水	会員番号　871	田中　謙橘
○	慣れ仕事　軽い気持ちが　事故のもと	会員番号　919	南部　昌弘
○	加齢とともに　暑さ感じず　熱中症	会員番号　1116	宮代　正男
○	安全は　仕事に慣れは　不必要	会員番号　1138	橋本喜一郎
○	交差点　早めの右左折合図で　皆笑顔	会員番号　1172	山本　行雄
○	カッパ箸　作って今日も　ボケ防止	会員番号　1345	石垣　一幸
○	青信号　急ぐな　安全確認	会員番号　1403	中村　孝幸
○	開始前　間を持つ余裕　事故防ぐ	会員番号　1444	野内　　茂
○	安全作業　声をかけあい　事故防止	会員番号　1479	萩原　一孝
○	作業前　まずは現場一回りして　ＫＹＴ	会員番号　1729	斉藤　達良

会員の声

男の独り立ち

会員番号 1049　山下　順征

年をとった男衆の大半は妻より自分が先に逝くと思っているようだ。
そういう自分もその一人だが、考えてみるにまったく都合のよい横着な男の論理と思う。
妻に先に逝かれたとき、取り残された男の平均余命はわずか２年とのこと。

これは日頃、男が身の回りのことや近所付き合いを妻に頼り切ってきた結果、突然に妻に先立たれ時、自分では何もできずに、立ちすくむことから始まるようだ。

自戒を込めて思うに、このことに心当たりのある男衆は、万一に備えてひとつでもいいから身の回りのことができるように、学び・備えておく必要があるのではなかろうか。

小生はそんなわけだけでもないが、多少の興味もあって時々料理に挑戦している。
自慢の料理は「きんぴらごぼう」・「コロッケ」・「肉じゃが」等である。ほとんどのおかずは醤油、砂糖、料理酒、みりん、ほんだしで味付けしている。調味料の量は「どぼどぼ」、「ぱらぱら」と目検討で行っている。

最後の味見は家内に頼んでいるが、最近では一発で合格をもらうケースも増えてきた。

何もできないで立往生し、そしてひきこもり、あとは人生下り坂をまっしぐらに転げ落ちないように、できるだけ回りに興味をもって日々を送っていきたいと思っている。

フォト歳時記

霞ケ浦の帆引き船を撮る

会員番号 1345 石垣　一幸

日本第２位の広さを誇る霞ヶ浦､ワカサギやシラウオ、コイ、フナ、ウナギなど淡水魚が数多く生息する魚類の宝庫と呼ばれる湖です。

帆引き船は霞ケ浦町の折本良平氏によって考案され、明治 13 年はじめて霞ケ浦に浮かびました。昭和 40 年頃までは画期的な漁法として漁師に親しまれましたが､トロール船の登場により間もなく姿を消しました。

（望遠 300mm　絞り優先 F22）

しかし白い帆をあげて風をはらみ､自然の光を映す帆引き船は多くの声を受け、再び霞ケ浦に「観光帆引き船」として姿を現したのです。　帆引き船に揺られて走る湖面は心地が良く誰もが自然との一体感をえられることでしょう。

川柳

- 鳥インフ 負けるな干支だ 吹き飛ばせ
- 生きている 何もしないで 息してる
- 野菜高 菜園畑が 輝いて
- タクシーも 距離を間違え 高かった
- 長生きは 威張っておれない 嫌われる

—— クボハゼ ——

- 天然の キャラが渦巻く テレビ界
- あの演歌 流れるラジオ 涙出る
- トランプの 一言世界 駆け巡る
- 惚けるまえ 免許返して かっぱバス
- 定年後 ゆっくりしたい それは無理
- 混んでても 笑顔カワイイ レジ並ぶ
- 稀勢の里 牛久経済 盛り上げる

—— 渕 旅 人 ——

- 貿易は トランプで勝負 赤か黒
- 何時までも あると思えよ 悩み事
- 大病院 通路は満席 お客様

—— 太 平 記 ——

都都逸

- 車遊びや空飛ぶ遊び 資金はすべて
  カードローン
- 昔焦がれた高嶺の花も 今はおいらの
  そばの花
- 山に芝刈り行ったはよいが
  腹を下して草かった

—— 枕石漱流 ——

- 酔った姿を見せたくないと
  家に帰れば妻がトラ
- 唄を唄って聞かせたつもり
  心地よいのはどなたかな
- 隣に座ったナビゲーターは
  案内せずに高いびき

—— 福 寿 草 ——

狂歌

- 稀勢の里 今の勢い 持続して
  連覇々々の 大横綱に

—— 渕 旅 人 ——

- 小池氏と 森元総理 肌合わず
  意地の戦い いつまで続く
- 奉納の 土俵入りを 見た限り
  ガラリと替わり 立派な横綱

—— クボハゼ ——

事 務 局 か ら の お 知 ら せ

（平成 29 年度会費について）

“会費納入のご案内”が届いてから、内容をご確認の上、振込もしくは現金でお支払いください。
退会を希望される方はご連絡を頂けると助かります。

（お仕事のご案内）

清掃作業（トイレ含む）・農作業・除草・剪定・仕分け作業・・・募集中
（年齢は関係ありません）
①元気で前向きで、チームワークを大切にできる方で、興味・やる気のある方、事務局までご連絡ください。
②体力的な事や時間的な事などで、違うお仕事に代わりたい方など、お気軽にご相談ください。

（お願い！！）

＊健康診断の結果のコピー(年一回)、健康保険証のコピー(保険証更新の都度)の提出をお願いします。
＊男女共に会員募集中です。特に女性のニーズが高まっています。ご家族・ご友人の方で興味のある方、ぜひご紹介ください。